



2021年6月11日

各 位

会社名 堺化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢部 正昭
(コード番号 4078 東証 第一部)
問合せ先 取締役経営戦略本部長 中西 敦也
電話番号 072-223-4113

亜鉛末事業の撤退ならびに 湯本工場の爆発・火災事故にかかる業績への影響に関するお知らせ

本年5月11日(火)7時40分過ぎ、弊社湯本工場(福島県いわき市)の亜鉛末製造工場にて発生しました爆発・火災事故におきまして、負傷された方々にお見舞いを申し上げますとともに、近隣住民の皆様、関係ご当局の皆様、お客様をはじめとする多くの方々に多大なご迷惑をおかけしたことに深くお詫び申し上げます。

弊社は、本日開催の取締役会において、亜鉛末事業から撤退することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当該事故による2022年3月期通期連結業績への影響額の見通しも併せてお知らせいたします。

記

1. 亜鉛末事業撤退の理由

弊社は創業以来、亜鉛末製品の生産販売を行い、お客様はじめ取引関係者のご愛顧とご支援を賜り、事業活動を続けてまいりました。

このたびの爆発・火災事故で大きく損傷した建屋および設備の復旧につきましては、亜鉛末製品のマーケット状況や再建にかかる投資採算性等を勘案して検討を重ねてまいりました結果、誠に残念ながら亜鉛末製造工場の再建を断念し、亜鉛末事業から撤退することを決定致しました。

長年に亘りご愛顧いただいたお客様をはじめ取引先関係者の皆様には多大なるご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2. 湯本工場における爆発・火災事故に係る業績への影響額見通し

(1) 事故の概要

このたびの爆発・火災事故につきましては、関係ご当局が原因等を調査中であり、弊社が独自に設置した事故調査委員会においても原因究明と再発防止策の策定を進めております。

(2) 業績に与える影響額の見通し

当該事故により発生する補償、撤去などに係る費用、販売を含めた事業への影響額を合理的に見積もることは困難な状況ですが、弊社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づき、当該事故が2022年3月期の弊社連結業績に与える影響額の見通し(税引き前利益)は、合計300百万円程度としております。

(2022年3月期通期連結業績への影響額の見通しの内訳)

	金額 (百万円)	備 考
売 上 高	△1,300	亜鉛末製品の事業撤退による売上減
営 業 利 益(A)	△200	当該製品売上減に伴う限界利益の減少ならびに生産設備停止に伴う固定費の計上
特 別 損 益(B)	△100	損傷した建屋、生産設備および棚卸資産の除却ならびに撤去等にかかる費用等
合 計 (A)+(B)	△300	

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において弊社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上